

あなたの疑問・質問にお答えします

図書館に関する

素朴な疑問コーナー



## Webcat Plus

**Q** : 新聞に今年（2010年）の6月21日にWebcat Plusが更新されると書いてありました。これについて説明してください。

**A** : Webcat Plusは国立情報学研究所ホームページに構築されていて、図書館のホームページからは、データベース検索のなかのGeNiiからもアクセスできます。

**Q** : 国立情報学研究所のWebcat Plusはどのような機能があるのですか。国立情報学研究所（NII National Institute of Informatics）はどんなところですか。

**A** : 国立情報学研究所は1986年に設立された学術情報センターから2000年に改組された大学共同利用機関です。国内の学術情報の整備として1980年の「今後における学術情報システムの在り方について」の学術審議会答申以来、学術研究情報を共有資源として整備する方策を推進しており、その核としての機能を果たしています。

目録所在情報サービスでは、標準的な目録データ（MARC）を作成し、国内大学図書館等がオンラインで共同分担入力を行っています。この目録に所蔵館の情報を付加することで、総合目録データベースとしてWWW検索サービス（Webcat/Webcat Plus）が無料で利用できます。各国でもこのように学術情報を国の資源として整備し、国内の図書・雑誌の所在情報がわかるようにしています。さらには、図書館間相互貸借システム（ILL）もこれを基に行われています。また、国立情報学研究所のホームページを見ていただければ、目録所在情報サービス以外にも学術機関リポジトリの構築・連携支援が行われています。

Webcat/Webcat PlusはこのWWW検索サービスです。一致検索、連想検索にキーワード入力すると国内図書館の所蔵する関連図書の書影、要旨、目次等が表示されます。目次からも一部検索が可能です。

所蔵館については、Webcat Plusでは国内大学・研究機関以外に国立国会図書館、公共図書館もわかります。一方、図書館間相互貸借システム（ILL）で大学図書館の所蔵調査をするときは、Webcatの方が書誌データの的にも、また所蔵図書館のホームページへのアクセスもできて、便利だと思えますね。

Webcat Plusは、利用者のニーズに合った様々な利用方法があります。是非、一度アクセスされることを願っています。